

2025 年 3 月 21 日作成 Ver.1.3

《情報公開文書》

1 型糖尿病に伴う続発性骨粗鬆症の病態研究：
高解像度末梢骨用定量的 CT（HR-pQCT）による骨微細構造の縦断的解析

研究の概要

【背景】1 型糖尿病は、慢性的な高血糖により、様々な合併症が起こる疾患です。合併症の中に骨粗鬆症があります。1 型糖尿病による骨粗鬆症は、骨密度が低下したり、骨の質が悪くなることで、骨折が起こりやすくなると言われています。しかし、1 型糖尿病がどのような仕組みで骨に影響を与えるのか、また、発症後どのタイミングで骨に影響が現れるのかについては、まだ十分に解明されていません。特に、骨粗鬆症リスクの要因となる骨微細構造（骨の詳細な構造）の変化について、詳しいことはわかっていません。

【目的】本研究の目的は高解像度 CT である HR-pQCT を用いて、1 型糖尿病により生じる骨微細構造（骨の詳細な構造）の変化を明らかにすることです。1 型糖尿病の患者さんと正常な方の骨微細構造を比較することで、1 型糖尿病による骨の特徴的な変化を明らかにします。また、1 型糖尿病患者さんの骨微細構造が時間とともにどのように変化するかを調べることで、骨粗鬆症リスクが高まるメカニズムやその進行過程を解明することを目指します。

【意義】1 型糖尿病患者さんの骨粗鬆症の状態を知ることが、骨粗鬆症の早期発見・早期治療と、有効な治療法の選択に重要な情報になります。

【方法】1 型糖尿病患者さんと健常人の方について、患者背景情報、血液尿検査、骨密度検査、高解像度 CT のデータを 10 年間収集し、骨微細構造を比較します。

対象となる患者さん

1. 1 型糖尿病の患者さん
 - 1) 「1 型糖尿病に伴う続発性骨粗鬆症の病態研究：高解像度末梢骨用定量的 CT（HR-pQCT）による骨微細構造解析」に参加された患者さん 50 名。
 - 2) 長崎大学病院内分泌・代謝内科に通院または入院中の 1 型糖尿病患者のうち、1) の研究に参加されていない患者さん 50 名。
2. 健常者の方：長崎大学病院整形外科の臨床研究「原発性骨粗鬆症の病態解析：HR-pQCT による骨微細構造の加齢・骨粗鬆症変化の横断・縦断調査」に参加された方の中から 1. の患者さんと年齢、性別、BMI を一致させた 100 名分のデータ。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・背景情報
- ・DXA 法骨密度検査
- ・胸腰椎単純X線
- ・血液検査
- ・尿検査

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は2025年4月3日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2039年3月31日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 内分泌・代謝内科 氏名：中路 恵莉加 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7262
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 内分泌・代謝内科 中路 恵莉加

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7262 FAX 095（819）7263

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）